

IkiIki なかつ

特集 P.1-P.3
整形外科「部長インタビュー」

Vol.101
TAKE
FREE

骨 仕事

の
ある

整形外科部長 恵木丈



済生会のおはなし
『なでしこ紋章』

なでしこ紋章の由来

初代総裁・伏見宮貞愛（ふしみのみやさだなる）親王は、創立当時、済生会の事業についてのおこころを、野に咲く撫子（なでしこ）に託して歌にお詠みになりました。これにちなみ、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、なでしこの花に露をあしらったものが、大正元年（1912）より済生会の紋章となっています。



▲済生会紋章

なでしこの詠

「露にふす
末野の小草
いかにぞと
あさ夕かかる
わがこころかな」

「野の果てで、露に打たれてしおれるなでしこのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかかって仕方がない」

外来診療体制の変更のお知らせ

令和元年9月から第2週・第4週の土曜日が休診日となります。皆さまにはご迷惑・ご不便をお掛けいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

※詳しくはホームページにてご確認ください。※ご不明な点は、各診療科にお問い合わせください。

診療日 時間	月～金	午前 9:00～12:00(受付は11:30まで) 午後 13:00～15:00(予約診のみ)
	第1・第3・第5 土	午前 9:00～12:00(受付は11:30まで) 午後 休診
休診日	第2・第4土曜、日曜、祝日、12/31～1/3、5/30(創立記念日)	



社会福祉法人 財団 済生会支部
大阪府済生会中津病院

WEBサイトをご覧ください

<http://www.nakatsu.saiseikai.or.jp/>

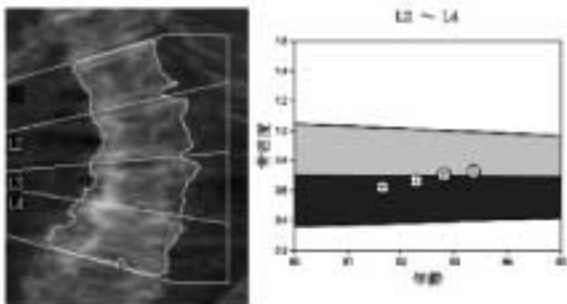
携帯・スマホの方はこちらよりアクセス▶



〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目10番39号 TEL:06-6372-0333(代表)

○初診の方・再診で予約のない方 8:30～11:30(再診受付欄8:00～) ○再診で予約のある方 ※ご予約の診療時間までに受付をお済ませください。
○休診日 第2・第4土曜、日曜、祝日、12/31～1/3、5/30(創立記念日) ※診療日・時間に変更になる場合がございます。※ご不明な点は、各診療科にお問い合わせください。
令和元年10月30日発行 第101号 発行元:大阪府済生会中津病院 広報室 お問い合わせ 06-6372-0333

■83歳、女性



約2年間の薬物治療で、腰椎骨密度は16%増加



「中津病院では骨粗しょう症の診断に最適な測定法である骨密度DXA法(二重X線吸収法)により、最も折れやすい部位である脊椎や股関節の骨密度を短時間で調べられます。また若い頃の身長よりも3〜4cm以上低くなっていたら、骨粗しょう症が進んでいるサイン。気になったらお気軽に相談ください」

骨粗しょう症かどうかは簡単に検査することができます。「中津病院では骨粗しょう症の診断に最適な測定法である骨密度DXA法(二重X線吸収法)により、最も折れやすい部位である脊椎や股関節の骨密度を短時間で調べられます。また若い頃の身長よりも3〜4cm以上低くなっていたら、骨粗しょう症が進んでいるサイン。気になったらお気軽に相談ください」

予防することが大切 気になる方は検査を



では、骨粗しょう症を予防するにはどうすればよいのでしょうか？

「まず生活習慣を見直し、運動不足の解消とともにカルシウムやビタミンDなどの栄養素をしっかり摂ることが大切です」

関東と関西では関西の方が患者さんが多く、その理由として関西の人はビタミンKを多く含む納豆をあまり食べないからと言われています。

骨粗しょう症かどうかは簡単に検査することができます。

「中津病院では骨粗しょう症の診断に最適な測定法である骨密度DXA法(二重X線吸収法)により、最も折れやすい部位である脊椎や股関節の骨密度を短時間で調べられます。また若い頃の身長よりも3〜4cm以上低くなっていたら、骨粗しょう症が進んでいるサイン。気になったらお気軽に相談ください」

骨粗しょう症かどうかは簡単に検査することができます。

医味ある
ことば

Vol.3 整形外科

骨のある“仕事”

全員がグレーゾーン？
本当は怖い「骨粗しょう症」

「いつの間にか骨折」、最近こんな言葉を聞かれたことはありませんか？人間の体を支える(脊椎)、動けるようにする(手足の骨)、体の器官を保護する(頭蓋骨、肋骨)などのほかに、血液を作る、カルシウムやミネラルを貯蔵するなど、人間の体にとって大切な役割を担う骨ですが、高齢化に伴って骨折しやすくなる病気「骨粗しょう症」が年々増加しています。加齢とともに骨の量は減っていくため、骨粗しょう症には誰もがかかる可能性がります。特に女性に多いのが特徴で、50代以降に骨の健康を支える女性ホルモンが大きく減少することにより、骨密度と骨の質が低下するからです。

「骨粗しょう症には自覚症状がなく、骨折して初めて気付くケースがほとんど。また、意外に思われるかもしれませんが、骨粗しょう症は寿命と密接に関係しています。股関節を折って、寝たきりになる、認知症を誘発する、と骨折から5年の間に4割以上の方が亡くなられています。実は、これは胃がんの予後よりも悪い数字です」



整形外科とは、骨や筋肉や神経など、首から下の身体運動に関わる「運動器」を治療する診療科で、その領域は関節外科、脊椎外科、手外科、小児整形外科、スポーツ整形外科など多岐に渡ります。今回は、部長の恵木先生に整形外科において最も重要な組織の1つである「骨」を中心にお話をお伺いしました。

日常生活の中での ふとした拍子にも骨折

骨粗しょう症によって起こりやすい骨折として、恵木先生の手外科で一番多いのが手首の「橈骨(とうこつ)遠位端骨折」です。一般的には、運動中に転ぶなどして大きなエネルギーが手首にかかって起こる骨折ですが、骨粗しょう症の人は椅子から立ち上がり損ねて手を突いただけで折れることがあります。

「治療法としては、ギプスで固定するだけだと後遺症が残るので、手術でチタン製プレートを入れて患部を強く固定します。関節周囲の軟骨や靭帯の合併損傷が同時に起こっている場合が多いので、関節鏡という関節内のための内視鏡を並行して行うことで、正確な診断と低侵襲な治療を行っています」

豊富な臨床経験と 最新の医学知見で ベストな治療法を



整形外科では低侵襲な治療法に取り組んでいます。例えば、関節外科では変形した骨を取り除いて人工関節(インプラント)に置き換える人工股関節置換術において、小さな皮膚切開で手術を行う低

侵襲手術法(MIS)の中でも筋肉や腱へのダメージを最低限にする前方アプローチを用いて手術を行っています。

「人工関節という怖いや、大変そう」などのイメージを持たれる方がいらっしやるかもしれませんが、むやみにリハビリをするよりもはるかに効果的で、股関節も膝もかなり良い状態まで戻せます。ゴルフやテニスなどの軽いスポーツもできるようになりますので、手術をためらって機会を失うのはもったいないと思います」

脊椎外科では脊椎圧迫骨折において、経皮的椎体形成術(BKP)という新しい治療法により、早期の痛み軽減を図っています。また、手外科ではTFCC損傷、尺骨突き上げ症候群、母指CM関節鏡など関節鏡視下手術で年間300例近く行っており、これは中津病院の強みです。さらに、関節鏡において、より精度の高い診断・手術を可能にする4Kディスプレイを今年中に導入する予定です。



FOCUS

整形外科

多士済々のメンバーが力を合わせ、患者さんにとって最適な治療を追求



中津病院の整形外科の特長は、それぞれに専門分野を持つ10名以上のドクターが在籍し、関節外科、脊椎外科、手外科を中心に、関節リウマチ、骨折、スポーツ整形外科まで、患者さんの疾患や状態に合わせて、最適なドクターが診療できるところ。関節外科には股関節の大家である大橋副院長と人工関節を得意とする橋本部長と清川（いがわ）先生。手外科には手疾患に関するスペシャリストである一般社団法人日本手外科学会認定「手外科専門医」の恵木部長。脊椎外科には診断も治療も確実な兼松先生と整形外科のダイナモ（エンジン）と呼ばれる白先生。スポーツ医でセレッソ大阪のチームドクターでもある寺岡先生をはじめ、ベテランから若手までスペシャリストたちが、日々患者さんのためにベストを尽くしています。

STAFF紹介

福山先生 <紹介者：恵木先生>

今年から中津病院に来た福山先生。一般的な手外科では骨折の治療を主にしていますが、当院では変性疾患にも多く取り組んでいるため、うちを選んでくれました。明るい性格で一緒に働いて元気がもらえます。手術の手技も安定していて頼りになります。早く一人前になって一人で手術を担当してほしいですね。期待しています。



「昔、私がまだ若かった頃に、尊敬していた先生からすごく怒られたことがあります。知らず知らずのうちに、一番良い治療ではなく、患者さんにとって楽な治療の方を選んでいたので。患者さんが嫌がる治療であってもそれがベストなのであれば易きに流されず、議論になってもちちゃんと説明し、理解していただくことが大切。手術が好きなのは基本的にはいいですが、しないよりした方がいいというをはっきり示せば、必ず納得していただけると信じています」

「どんなに良い治療でも治るまで5年もかかってしまうようでは納得してもらえない。私は1年後までにどう治すかを重視しています。まず1年目でちゃんと良くなって、5年後も良いというのが理想ですね」

患者さんのことを本当に考えるから、絶対に妥協はしない

恵木先生が常々スタッフに言うことは、「プロフェッショナルとして絶対に妥協をしない」。



短期・長期、両方の視点でQOL向上に貢献

整形外科の使命は、患者さんのQOL（Quality of Life：生活の質）向上への貢献のために、なるべくけがをする前、あるいは変性疾患になる前の状態に戻せるようにすること。さらに、それをなるべく早期に行うことと語る恵木先生。



▲ 左から整形外科 副部長 橋 裕健先生、主任部長 大橋 弘嗣先生、部長 恵木 丈先生

ただ、患者さんに最善の治療法を伝えるためには、医者の側も何が最善かを勉強して知っておかなければなりません。そのためにも、今後勉強会などでもっと切磋琢磨してお互いを高め合っていきたいと考えています。

最後に、皆さまへのメッセージを伺いました。

「患者さんがここにきて良かったなど、気持ち良く帰っていただくことが目標です。治せないものは確かにありますが、私たちが治せると言えば、それを信じて飛び込んできてほしいです」

先生ありがとうございました。

Profile

整形外科部長 恵木 丈

☆趣味は？

旅行に行っておいしいものを食べること

☆今、一番大切にしていること

娘の健やかな成長

☆心掛けていること

子どものころは「克己」、最近は「一瞬の光陰軽んずべからず」。今、できる時にしっかりチャンスを見逃さずやるように心掛けています。



医療のお役立ちポイント
知っていますか??
 医療制度や医療保険の
 仕組みについてご紹介します
 その3

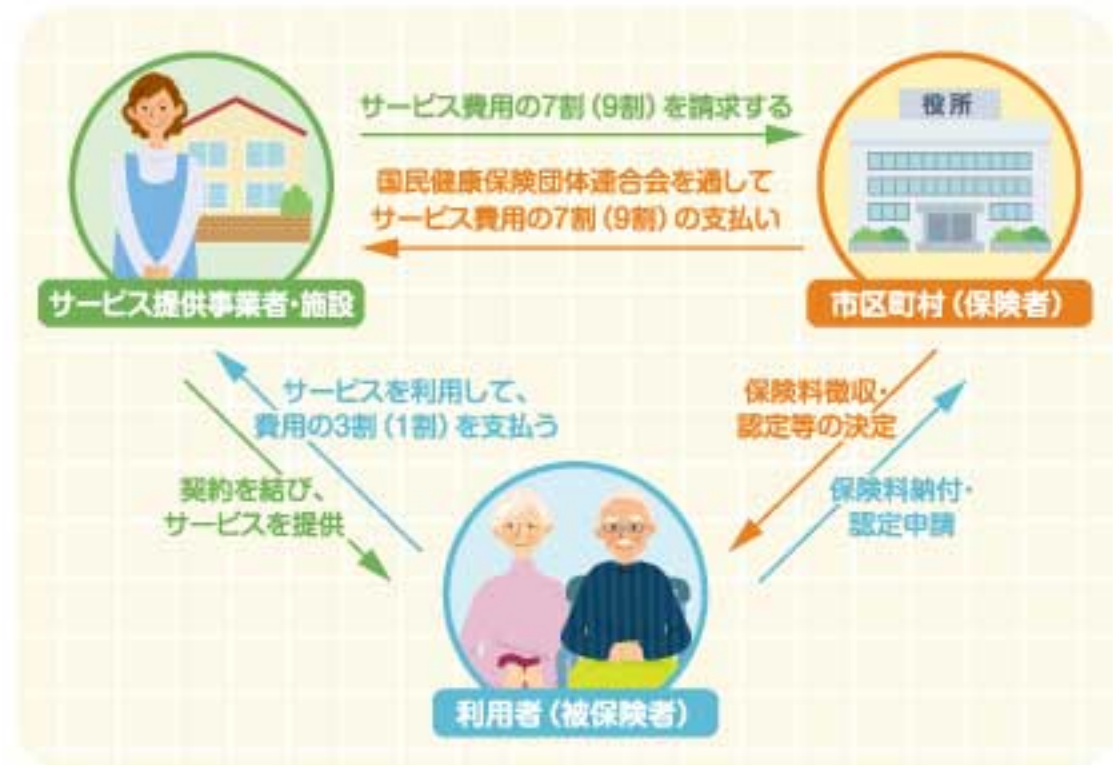


自分や家族が入院した時
 知っておきたい
『介護保険制度』
 のおはなし

介護保険制度とは、介護が必要となった高齢者とその家族を社会全体で支えていく保険制度です。介護保険制度の仕組みや利用方法をご紹介します。

Q 介護保険制度ってどんな仕組み??

A 介護保険の保険料は、国民から支払われた保険料と国の公費によってまかなわれています。保険者は制度を直接運営している市町村で、この国の国民全員が40歳になった月から介護保険に加入、被保険者となり保険料を支払うこととなります。介護サービス業者は、サービスにかかる費用のうち1割〜3割を利用者に、残りを各市町村に請求します。つまり被保険者は介護サービスを1割〜3割の負担で受けることができます。



Q 介護保険サービスを利用できる人は?

A 65歳以上の人
 45歳から64歳で医療保険に加入している人

介護保険料の納付は40歳から始まりますが、サービスを受けられるのは、基本的には65歳になってから。ただし、特定疾患と呼ばれる疾病のどれかに罹患している場合、40〜64歳でも介護保険の適用を受けることができます。

Q どんなサービスがあるの?

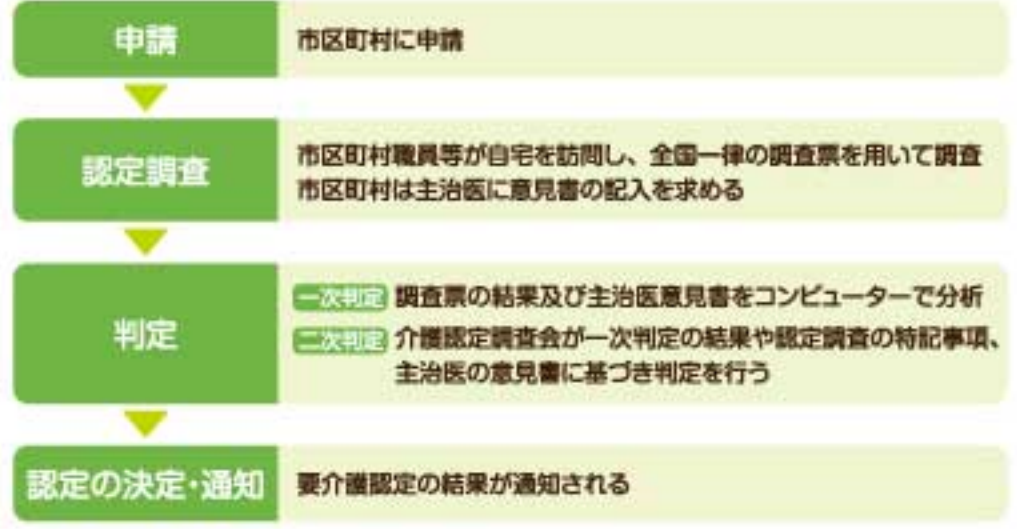
A 在宅で受けるサービス

- ・訪問(介護、入浴、看護リハビリ)
- ・通所(介護、リハビリ)
- ・短期入所(生活介護、療養介護)
- ・福祉用具(貸与、特定制具購入)
- ・住宅改修

- 介護施設へ入所して受けるサービス
- ・特別養護老人ホーム
- ・老人保健施設
- ・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

Q 介護サービスを利用するには?

A 介護保険制度を利用し、介護サービスを受けるためには、各市町村や専門機関に一定の手続きを行い、要介護認定される必要があります。



Q 心強い味方「ケアマネジャー」に相談しよう!

A ケアマネジャーは介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるように、ケアプラン(サービス計画書)の作成やサービス事業者との調整を行う、介護保険に関するスペシャリストです。中津病院の居宅介護支援事業所でも要介護認定の申請代行からサービスの利用まで、介護を必要とされる方とご家族が自宅で安心して過ごせるようなケアプランを作成し、サービスの連絡、調整などを行っています。詳しいサービス内容については左記までお問い合わせください。



お問い合わせ

大阪府済生会中津病院
 居宅支援事業所
 (事業所番号 2774100040)
 大阪府済生会中津病院西棟1階
 〒530-0012
 大阪市北区芝田2-10-39
 TEL 06-6372-0733
 FAX 06-6372-0752



ここが気になる セルフチェック

Check!!
Check!!

vol.3

脳卒中

●うまく笑顔が作れますか?

YES NO

●両腕を上げたまま保てますか?

YES NO

●短い文をいつも通り話せますか?

YES NO

●上記の症状が出るようになったのは、
4時間半以内ですか?

YES NO

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりして脳に血液が届かなくなり、突然脳の神経細胞に障害が起こる病気です。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などがあります。脳卒中の危険因子には、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動などに加えて、喫煙、大量飲酒、肥満、運動不足などの生活習慣があります。脳卒中により寝たきりとなることも多く、早期発見・早期治療が非常に大切です。

早期発見のためのチェック項目として、顔のまひ(笑顔がゆがむ)、腕のまひ(片腕に力が入らず下がってくる)、言葉の障害(ろれつが回らない、言葉が出てこない)、などがあり、1つでも当てはまれば、脳卒中の可能性があります。特に脳梗塞では、発症してから4時間半以内の患者さんのみに行える特殊な治療もありますので、可能な限り速やかに病院を受診しましょう。脳梗塞では血をさらさらにする薬やカテーテル治療、脳出血・くも膜下出血では血圧を下げたり、手術による治療を行います。

脳神経内科 医師 高橋 由佳子



高齢者におけるインフルエンザ

●12月からの寒い時期に、
急な体調不良が出現した

YES NO

●38度以上の発熱がでて、
次の日には医療機関を受診

YES NO

●慢性の病気で通院しているので、
11月末から12月初めまでにはワクチン接種

YES NO

●インフルエンザと診断されたので、
家族とは別の部屋で食事をしている

YES NO

インフルエンザは、毎年12月から3月まで流行する季節性のウイルス感染症です。年齢に関わらず感染するので、重症化を防ぐために、特に免疫抵抗力が低い方には、ワクチンが非常に有効です。ワクチンの主な対象者としては、65歳以上の高齢者、糖尿病、COPD、慢性心不全などの慢性疾患を罹患している患者さん、ステロイドなどの免疫抑制を起こす薬剤を内服中の方に接種が勧められます。ワクチンは、感染を防ぐのではなく、あくまでも重症化を防ぐものなので、流行時期には、手洗い、マスク着用が必要です。インフルエンザの症状は、比較的特徴的であり、突然発症する38~40度の発熱と咽頭痛、関節痛、筋肉痛などを合併します。高齢者の場合は、高熱のために動けなくなり、脳梗塞と間違われるようなこともあります。発熱を多くの場合伴うので、冬の間の高齢者の突然の体調の不良時には、体温チェックが必須になります。インフルエンザには、治療薬がありますが、発症後48時間以内での使用が望ましいとされています。

老年内科部長 高田 俊宏



感染管理室 室長
安井 良則

秋から冬にかけての 感染症対策

10月~12月

冬に流行する感染症は感冒様症状と胃腸症状から始まるタイプがあります。特に注意が必要なのはインフルエンザとノロウイルスです。これらの感染症は乳幼児や高齢者など抵抗力の弱い人が感染すると合併症などによって死亡する恐れもあります。流行前のワクチン接種など基本的な予防対策を今からしっかりと行いましょう!

10月~12月にかけて注意が必要な感染症 ・インフルエンザ ・ノロウイルス

◆ インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする感染症で、毎年世界中で流行がみられています。インフルエンザの流行は例年11月下旬から12月上旬にかけて始まり、1月下旬から2月上旬にピークを迎え、3月頃まで続きます。

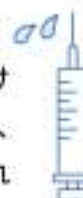
● 症状

- ① 突然の発熱 (38度以上の高熱)
- ② 頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛
- ③ 鼻水、咳などの呼吸器症状

● 予防

インフルエンザの予防には、予防接種を受けることが有効です。予防接種を受けることで、発症率、重症化率の低減につながると言われています。予防接種を受けてから、抗体ができるまで約2週間かかり、効果は5カ月間持続しますので、流行前に早めに接種することを、お勧めします。

また、くしゃみや咳、会話などで口から発する飛沫で感染が広がります。また接触感染もありますので、咳エチケットや手洗いの徹底が重要です。



◆ ノロウイルス

感染性胃腸炎とは多種多様な原因によるものを包含する症候群名です。その多くはノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス感染によるもので、患者発生数のピークは例年12月中となることから、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の大半はノロウイルスによるものであると考えられます。

● 症状

- ① 吐き気、おう吐、下痢
- 通常は便に血液は混じりません。あまり高熱とならないことが多く、おう吐、下痢は1日数回からひどい時には10回以上の時もあります。ごくまれにおう吐した物を喉に詰めて窒息(ちっそく)することがありますので注意してください。

● 予防

ノロウイルスにはワクチンもなく、その感染を防ぐことは簡単ではありません。最も重要で、効果的な予防方法は「流水・せっけんによる手洗い」ですが、他にもさまざまな注意すべきことがあります。

- ① 調理の前と後でしっかりと流水・せっけんによる手洗いを行う
- ② 貝類の内臓を含んだままで調理する場合は十分に加熱調理し、調理した調理器具はすぐに熱湯消毒する
- ③ ノロウイルスに感染した場合、そのおう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれていて、わずかな量でも容易に感染します。おう吐物や下痢便の処理について正しい知識を身に付けた上で処理することが重要です。



上記についての詳しい情報はこちらをご覧ください。 http://kansensho.jp/pc/article.html?id=1F00000025&from_intermediate

お知らせ

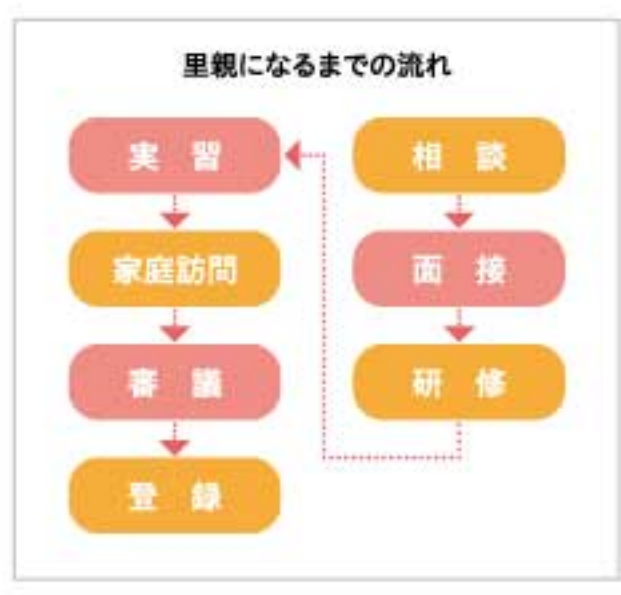
ご存知ですか？ 10月は里親月間です。

私たちの身近には、さまざまな事情により家族と一緒に暮らすことができない子どもがいます。そんな子どもを家族の一員として温かく迎え入れ、愛情と理解を持って子どもの心身の成長を支えてくださる「里親」を求めています。子どもたちのためにできること、一緒に考えてみませんか？



- **全ての子どもたちに家族の温もりを**
保護者の経済的困窮や病気など、さまざまな事情のために家庭で生活できない子どもたちは大阪府に3000人。そのほとんどは乳児院や児童養護施設で集団生活しています。子どもたちが家庭と同様の養育環境で生活できるように、国を挙げて推進しています。
- **子どもたちの健やかな成長のために**
施設で生活する子どもたちは、家庭での「く」当たり前な「家族だらん」を知らずに生活しています。自分を大切してくれる特定の大人との愛着関係を築くことが子どもの健やかな成長にとっても大切であり、将来、社会に出る時に必要な社会性や生活技術を獲得することができません。
- **私たちにできること……「里親」になる選択**
保護者と暮らすことができない子どもたちを自分の家庭に受け入れて育ててくださる方が「里親」です。里親制度には種類があります。
 - 【養育里親（はぐくみホーム）】一定期間、子どもを家庭で育ててくださる方
 - 【養子縁組里親】養子縁組により子どもの養親になってくださる方
 - 【親族里親】祖父母などの親族が里親となり子どもを養育する
 - 【専門里親】虐待など配慮が必要な子どもを育ててくださる方

- ◆ **里親になる要件**
 - 心身ともに健全であること
 - 子どもの養育についての理解及び熱意ならびに子どもに対する豊かな愛情をもっていること
 - 経済的に困窮していないこと
 - 子どもの養育に関し、虐待などの問題がないと認められること
 - 児童福祉法及び児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律の規定により、罰金以上の刑に処せられたことがないことなど、児童福祉法で定める欠格事由に該当しないこと



里親になるには特別な資格は必要ありません。ご家庭の環境や気持ちに合わせた制度をご紹介しますことができます。少しでも関心がある人、少し聞いてみたいだけの人でも構いません。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせはこちらまで
 大阪乳児院 里親支援機関 おむすび
 電話 090-2599-3108
 mail omusubi@nakatsu.saiseikai.or.jp



正面庭園 MAP



正面庭園にある数々の歴史

1916（大正5）年、当院は大阪市北区中崎町に済生会大阪府病院として開院しました。大阪北部の中核病院として診療に携わり、年々患者数も増加。しかし時代の移り変わりとともに建物の老朽化と規模の小ささから診療に支障をきたすようになっていました。



早急な建て替えを迫られましたが、世界恐慌が日本にも波及するこの時代、改築費用を用意することができず計画は頓挫していました。そんな時、当時メリヤス商を営んでいた嘉門長蔵氏より私財100万円、現在の金額で約40億円の寄付の申し出があり、その寄付をもって現在の地に移転することができました。その後、2002（平成14）年に病院は建て替えられましたが当時の正面玄関のファサードは残され、嘉門長蔵氏の徳を称え、嘉門長蔵氏は今もその玄関と向き合っています。嘉門長蔵氏の命日に当たる7月1日には、その功績を讃えるとともに感謝と敬意を込め、毎年、嘉門祭が行われています。

大阪府立北野中学校跡記念碑

1902（明治35）年、1931（昭和6）年まで現在病院が建っているこの地には大阪府立北野中学校（現・大阪府立北野高等学校）がありました。じつは、「鉄腕アトム」「フラックジャック」などの作品で知られ、「漫画の神様」とも呼ばれる漫画家、手塚治虫さんは、北野中学校の出身（59期）です。手塚さんは北野中学校在学当時から、同好会の会誌などで精力的に漫画を執筆していたそうです。



新館落成・式創立70周年記念植樹

1986（昭和61）年5月22日、新館落成・式創立70周年記念式典の際に総裁高松宮親王、同妃両殿下をお迎えし、殿下はマキを、妃殿下は枝垂れカエデを記念植樹としてお手植えになりました。

北棟落成式記念植樹

2002（平成14）年6月17日、現在の北棟落成式の際に総裁寛仁親王妃信子殿下が記念植樹としてお手植えになられた「枝垂れ紅梅」。毎年3月になると美しい梅の花を咲かせています。



枝垂れカエデ

マキ

枝垂れ紅梅



楽しいイベントが盛りだくさん!
ぜひご参加ください。

TOPICS

こもれびサロン「アートさんぽ」を開催



7月25日(木)中津の周辺地域で開催されている地域連携アートフェア「アトライアングル」が今年も開催され、中津病院でも、こもれびサロンとして「アートさんぽ」を実施しました。スタンプラリー形式で院内のアート作品を鑑賞。特別展示では手作り照明教室 橋田裕可先生にご協力いただき、職員が制作した「あかり」を展示しました。温かな和紙のあかりが、見る人の心を癒しました。

喜久寿苑ボランティアコンサート



7月13日(土)毎年恒例の喜久寿苑ボランティアコンサートが開催され、フラダンスチーム「カメロ・アロハ」の皆さんによる、フラダンスショーが披露されました。総勢20名のダンサーによる本格的なフラダンスは迫力があり、みんな食い入るようにフラダンスを見つめていました。途中、フラダンスのレクチャーもあり「月の夜は」の曲に合わせて、手を動かせる方は楽しそうにフラダンスの手の動きを真似ていました。観客も職員も大満足のコンサートになりました。

読響ハートフルコンサート



8月27日(火)読売日本交響楽団(読響)ハートフルコンサートが開催されました。バイオリン・チェロ・ピオラの弦楽四重奏が披露され、患者さんやお見舞いの方合わせて約500人が来場。曲はモーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク」などのクラシックから「涙そうそう」や「川の流れるように」など幅広い曲目と素晴らしい演奏で観客を沸かせました。アンコール曲の「ふるさと」では演奏に合わせて来場者みんなで合唱しました。来場した患者さんからは「入院中気がめいる毎日だったが、素晴らしい生演奏に元気をもらった」などのお声をいただきました。毎日の療養生活の中で、少しでも患者さんやご家族さんの癒しになってほしいと職員が込めた思いが届いたコンサートとなりました。

EVENT

11月

10月31日(木)・11月1日(金)

■10月31日(木) 11:00~16:00、11月1日(金) 11:00~14:00 ■場所/南棟2階 講堂

第34回 中津医療福祉センター 文化祭

展示、手作りパンの販売、手作り雑貨の販売

11月14日(木)

■13:30~15:00 ■場所/北棟2階エレベーター前

世界糖尿病デーイベント ・血糖測定 ・生活習慣病指導 ・フォトコンテスト結果発表

11月14日は世界糖尿病デーです。毎年恒例の糖尿病予防啓発イベントを開催。ブルーライトアップやフォトコンテストも同時開催します。

①フォトコンテスト

■写真応募期間
9月24日(火)~10月31日(木)
■投票期間
11月6日(水)~12日(火)
中津病院北棟2階総合受付

発表 / 11月14日(木)
世界糖尿病デーイベント会場

②ブルーライトアップ

■11月6日(水)~14日(木)
■日没~22:00
■場所/中津病院前

③無料血糖測定、 無料生活習慣病指導

■11月14日(木)
■13:30~15:00
■場所/中津病院北棟2階

☆フォトコンテストの受賞作品は一年間、院内に展示させていただきます。

11月16日(土)

■15:30~16:00 ■場所/北棟2階エレベーター前
中津病院ロビーコンサート

12月7日(土)

■15:30~16:00 ■場所/北棟2階エレベーター前
中津病院ロビーコンサート

12月19日(木)

■14:00~15:30
■場所/南棟2階 講堂

なかつ病院市民講座

・当院での腎がん治療 泌尿器科 部長 木山 賢
・遠活動ぼうこうの治療 泌尿器科 医師 齋藤 賢吉
・当科での尿路結石治療 泌尿器科 医師 加納 陽祐

12月21日(土)

■15:00~16:00
■場所/北棟2階アメニティホール

中津病院クリスマスコンサート

毎年恒例のクリスマスコンサートです。サンタさんも登場します。



理学療法

PT

病気を発症して間もない時、適切なリスク管理を行わない、安静による筋力低下や体力の低下を最小限に抑える運動を行いません。全身状態が落ち着けばできるだけ早くベッドを離れ（離床）、基本的動作（起居・座位・立位・歩行）練習、ADL（家庭の状況などを考慮し実際の生活場面を想定した）練習へと進めます。中津病院には、呼吸・循環・脳卒中・運動器・健康増進に関する認定理学療法士が在籍しており、あらゆる疾患の入院から退院、その後の生活のお手伝いをさせていただきます。



リハビリテーションって何？

超高齢社会を迎え、日常においても「リハビリテーション」という言葉を聞く機会が増えてきたのではないのでしょうか。しかし、リハビリテーションって何？と尋ねられた時うまく説明できるでしょうか。

リハビリテーションという言葉の語源はラテン語で、リ(Re)は「再び」、ハビリス(habilis)は「適した」、すなわち「再び適した状態になること」という意味です。少し難しい言葉でいうと「復権」「更生」となります。英仏の1000年戦争で活躍したジャンヌ・ダルクは異端審問にかけられ、19歳で火刑に処されました。その後、彼女の復権裁判が行われ、無実となり、さらには聖者の列に加えられたとされています。これこそジャンヌ・ダルクのリハビリテーションと言えます。このように、リハビリテーションという

言葉は非常に大きな意味を包含しています。

今回は中津病院においてリハビリテーションを実践している専門職についてご紹介したいと思います。現在のリハビリテーションを支える職種は数多くありますが、中でも中心的役割を担うのが理学療法士(以下PT)、作業療法士(以下OT)、言語聴覚士(以下ST)です。中津病院のリハビリテーション技術部は総数50名(PT:30名、OT:11名、ST:9名)が日々患者さんのリハビリテーションを進めるために奮闘しています。対象は入院患者さんのみとなります。

Re + habilis
再び適した状態になること

作業療法

OT

身体障害や精神障害のある患者さんへの「こころとからだのリハビリテーション」として作業活動(手作業などのアクティビティや日常生活動作)を用いて治療・指導、および援助を行っています。作業療法士は患者さんが「どのように生活されてきたか、これからどのように暮らしていくか」に着目し、在宅復帰に向けてアプローチをしています。中津病院では、実際の生活動作指導が行える台所や、浴槽、和室などの設備もあり、実践練習を行ったりしています。



言語聴覚療法

ST

言語聴覚士は、

- ① 聞こえの障害
- ② 言語機能の障害
- ③ 話しことばの障害
- ④ 食べたり、飲み込んだりすることの障害

に対して支援を行う専門職です。聞こえにくさ、しゃべりにくさ、食べにくさ、飲み込みにくさといった幅広い領域で、患者さんがより良い生活を送ることができるよう検査や訓練、支援を行っています。

